

12年に一度の開催 葛飾坂東観音御開帳

五霞町周辺の40の寺院による「葛飾坂東観音御開帳」が12年に一度の午年の今年開催されました。

小手指地区では、こども達による風景画の作成や古河市創原太鼓による太鼓の演奏など満開の桜の下でイベントが開催されました。

「今回こども達に描いてもらった風景画を12年間掲載して、大人になったこども達がまたここに帰ってきて欲しい」と地域の方の願いが込められた催しとなりました。

また、元栗橋地区の実相院では「葛飾坂東観音御開帳」を記念した稚児行列がおこなわれ、華やかな衣装のこどもたち25人の健やかな成長を願いました。



五霞町地域おこし協力隊

3期生の代雨橋^{だいうきょう}さんが着任！

五霞町では3期生となる地域おこし協力隊が4/1に着任しました。

中国出身の代さんは、東京都台東区から五霞町へ移住し、昨年発足した（一社）ごかみらいLabで活動することとなります。

これからよろしくお願いします！



代さんに インタビュー



Q.地域おこし協力隊に応募したきっかけは何ですか

A.日本に来てから約8年間、ほとんどを東京で過ごしてきました。もともと旅行が好きで、いろいろな地域を訪れる中で、地方の自然や文化の豊かさに強く惹かれるようになりました。一方で、魅力があるのに人が少ないという状況に、どこか「もったいない」と感じることも多く、いつか自分も関わられたらと思うようになりました。ちょうど30歳という節目を迎え、これまで考えていたことを行動に移したいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

Q.今後の意気込みをお願いします

A.大きく言うと、五霞町がより住みやすく、人が訪れたい町になるように関わっていきたくです。まだ分からないことも多いですが、先輩方から学びながら町への理解を深め、現場の中で自分にできることを見つけ、一つずつ実行していきたいと考えています。



地域おこし協力隊とは？

人口減少や高齢化などの課題を抱える地域が都市部から人材を受け入れ、地域活性化に取り組む制度です。任期は概ね1～3年で将来的な定住も目指します。